



2017年
平成29年4月号

編集・発行
 (一財) 徳島県婦人団体連合会
 〒770-8648 徳島市富田浜一丁目16番地
 徳島銀行 西別館 2階
 TEL 088-622-9639 FAX 088-622-9667
 e-mail: fujinkai-tokushima@sepia.plala.or.jp

平成28年度 第37回 徳島県婦人問題調査研究発表大会 (一般財団法人徳島県婦人団体連合会活動発表大会)

とき：平成28年11月22日 徳島県教育会館

第37回徳島県婦人問題調査研究大会を11月22日徳島県教育会館で、飯泉徳島県知事をはじめ、多くのご来賓をお迎えし、会員800名が参加し開催されました。調査研究発表は阿南市婦人連合会による「地方創世と防災」2000名の方々のアンケート調査をし、若年層から高齢者までの全県下の民意、意識の実態調査となり、婦人会活動の今後の取り組み方を考えるよい機会となりました。地域婦人会活動発表では、石井町女性の会と阿波市婦人団体連合会が発表。午後の部はミニ講演会と「たばこ病」についての講演がありました。

婦人問題調査研究発表

テーマ「地方創世と防災について」

発表：南部ブロック 阿南市婦人連合会

徳島県でも人口減少が加速的に進み、人口減少を食い止め、魅力あるまちづくりを進めるために、より一層、地方創世の取り組みに力を入れなければなりません。また、度重なる自然災害や本県でも南海トラフを震源とする巨大地震の発生が危惧されます。

私たちは、「地方創世」と「防災」について緊急の課題と捉え、皆さんが安全で安心して暮らせる社会の実現のためにアンケート調査を実施しました。併せて、昨年度から引き続き、「地域の幸福度」を分析、徳島県民の現状について把握し、今後の婦人会活動に活かしていきたいと思えます。

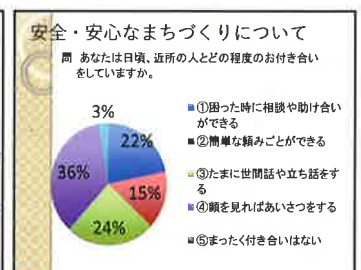
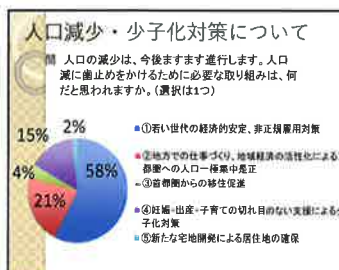
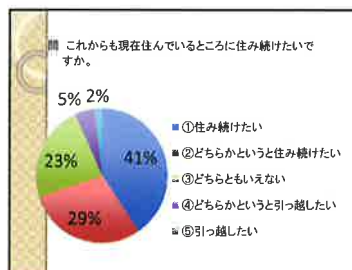
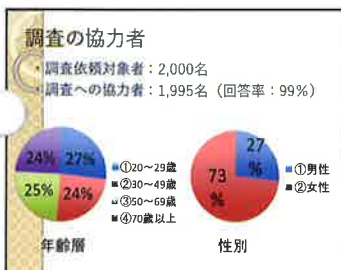


発表の様子



熱心に聴き入る会員

アンケート調査結果から



まとめ

調査の結果、婦人会関係者の方は多世代で暮らしている方が多く、住環境や自然環境、近隣関係がよいから住み続けたいと思っている方が多くおられました。反面、全く近所の方との付き合いがなく、地域に溶け込めず、地域とのつながりが薄い方もいることがわかりました。災害時には、多くの方が自分でできる範囲での支援や取り組みについて考えていることが伺えました。しかし、手助けの必要な人がいることを知らない方もおり婦人会として、今一度地域を見直す事が大切だと思います。豪雨発生時には、早めに様々な情報をキャッチして自分で判断し避難をすることが大切です。自分の命を守るのは自分自身です。

幸福度については「いろいろな事に感謝して安全な生活を送っている」方が80%近くいました。これまで以上に様々な人に声をかけ、情報を得ながら地域で人と人をつなげていく活動こそが重要です。阿南市では自然災害に備えて、新野町のシームレス民泊・中学生のHUG学習と阿南市総合防災訓練の取り組みについて紹介しました。



発表者の皆さん

SPECIAL 対談



一般財団法人
徳島県婦人団体連合会
会長 藤田 育美

徳島市長 遠藤彰良

徳島市婦人連絡協議会
会長 吉成由美子

藤田育美（以下F）：今回なでしこの対談を引き受けて頂きありがとうございます。

遠藤彰良（以下E）：わざわざお越しくださいませ恐縮です。

F：今までいろいろな方と対談をさせていただきました。そろそろ自治体の市町村長さんのところへ行こうかなあと、まず徳島市からいかせていただきました。これまで私一人で対談してきたのですが、対談する市町村を拠点とする婦人会の会長と一緒に、三者対談ということでお願いしたいと思います。

吉成由美子（以下Y）：よろしくお祈りします。

F：最初に私達婦人会の活動については、よく存じ上げてくださり、理解していただいていると思いますが、改めて説明させていただきます。

私たちは三本柱で活動しており、一番に地域に根差した活動です。二番目に日赤奉仕団。婦人会＝（イコール）日赤奉仕団であって、日赤奉仕団＝（イコール）婦人会ではありません。しかしながら9割近くが婦人会会員です。日本赤十字社徳島県支部も今年で130周年を迎え、婦人会は戦前から中心となって活動していて、防災や献血運動などに尽力しています。三番目に結核予防婦人会活動です。公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会に所属しており、全世界から結核をなくそう、撲滅しようと力を入れています。中でも、肺疾患である「たばこ病」を予防するために、禁煙運動にも去年から取り組んでいます。それが私たちの主な活動です。市長さんは婦人会に対してどのようにお考えですか？

E：婦人会って、藤田会長から聞いたことがずっと頭に残っていて、「会員は婦人会に就職したようなものです」と。もちろん無給でね。それだけ一生懸命に活動されていることが伝わってきました。文化から、教育から、福祉から、人権、

防災・・・なんでもされてますよね。いろんな面で貢献していただいているのを感じています。価値観がいろいろあって、なんでも協力してくれる人ばかりではない中でみんなをまとめていって、いろんな活動をしていくというご苦労はすごいなあと感じています。地域ごとの婦人会があって、それをひとつにしていかなくてはいけない、県単位だったら大変なものですね

F：それでも徳島県は恵まれております。ほとんどの郡市に婦人会がありますから、地域に根差した活動が皆さんのおかげでできております。特に徳島市にはお世話になっております。

E：「最強のボランティアグループ」という感じですよ。昔からつながっているというか、ずっと続いているという「最強の奉仕団」、ボランティアグループだと思います。自分の利益は全く考える間もないと思います。

F：みんな真面目で責任感が強いです。

E：女性の力はやはり大きいです。女性の底力というんですか、そういうのも感じさせられております。

F：ありがとうございます。市政の方についてはどうですか？

E：そろそろ1年が経つんですが、最初に私が一番言ってきたことが「子育ての環境をよくする」こと。子育て支援ですね。それと教育の環境を良くしたい。それから新町西地区市街地再開発。これに反対して私は当選したので、当然計画は白紙に戻すといった公約は実現します。子ども達に対しては小学校6年生までだった医療費の助成を中学校3年生までに拡大しました。その他、よく言われていました学校のエアコン。町によっては100%というところもある中で、徳島市はほとんどできていませんでした。授業中に熱中症になるとか、そんな話を聞いていて、生まれた場所によってそれだけ教育環境が違うのはおかしいだろうと思

い、全ての教室でエアコンをつけるということスタートしました。夢中になってやっていたんですけど、ある程度カタチになって進んでいってるかなと思っているところです。

Y：芸術ホールはたっているのでしょうか？

E：それ皆さん関心があるんですね。新町西にしたら一番早いでよって言う人もいたんですが、これは間違いなんですよね。新町西地区でもまだ反対している人がいらっしやるので、すぐに建てるというわけにはいきません。ホールは早くしなければいけないということで、最初に文化センターを直したらいいなと思って調査したんですけど、やはりちょっと難しいです。

Y：耐震問題ですか？

E：はい。コンクリートの寿命とかいろいろなことを考えて、廃止することにしました。今現在3つの候補地に絞っています。1つ目は徳島駅の横…西側のJR駐車場。そこを中心としてできないか、駅に直結したホールが出来るのではないかと。2つ目は文化センターを壊してその場所に建て替える。3つ目は前の計画にもあった動物園跡地ですね。その3カ所に絞って、今有識者の皆さんで検討会議を立ち上げ、いろいろな意見を出してもらっています。5月中には場所を決めて、出来るだけ早く完成させたいと考えております。

F：その3つについて、予算はどうなんですか？

E：駅の西側は、市の土地ではないので土地から費用がかかりますが、駅前への賑わいづくりには貢献できると思います。文化センター跡地と動物園跡地は土地代がかかりませんが、駐車場を別に用意しなければならないとか、国道が近いので渋滞の心配や近隣の住民への影響を解消しなければならぬ問題があり、一長一短があります。よく検討して、なるべく早く建設をしたいと思っています。

F：例えばなんです学校や他の施設のホールを使用させてもらうことはできないんですか？

E：まずホールがない、徳島市にあるのはあわぎんホールだけと言う話を聞きますが、教育会館にはあわぎんホールと同じだけ入れるホールがあるんですよ。ホールがない、ないという割には、教育会館の稼働率が低いんです。

F：音響設備のこともありますが、使用料が高いんですよ。



E：徳島市が徳島県教育会と協定を結びまして、教育会館のホールを使う時は2割引きにして、3割ぐらいしかない稼働率をもっと上げたいと思います。ですので、教育会館をもっと使っていただきたいです。

F：ぜひ我々の方もお願いしたいと考えております。あわぎんホールの抽選もなかなか当たらずで。

Y：何カ月も待っているんですが、なかなかです。



E：文化センターが一つなくなっているわけですから、単純に考えても倍の競争率になるわけですからね。教育会館のご使用を是非ご検討下さい。

F：婦人会はほとんど教育会館でしています。ホールに関してはみんなが困っていますので、いち早くお願いしたいと思います。検討する時や、いろんな懸案事項の際は、女性の意見を広くとり入れて頂きたいです。

E：いくらでも伺いますので、どんどん意見をおっしゃってください。

F：コンパクトな街づくりを望みます。少子高齢化になりますから。

Y：日常の買い物や通院ができれば、広い土地なんていらんんですよ。

E：中心市街地の活性化はそこに尽きると。なんでも賛成する人もいれば、反対する人もいますからね。でもやっぱり人の意見はしっかり聞かないといけません。いろいろ聞いた中で、責任をもって判断していくことなんですよ。

Y：現在の市バス中央循環線に関して、15年前に私達、市の婦人会が徳島市に陳情したんです。駅に出てから中央病院や大学病院に出たので、その間をつなぐ路線がほしいと。時間はかかりましたが、今それができて便利になったと思います。長い年月が経ちましたが、やはり意見はズットと言っていくものですね。

F：最後に第36回高齢社会をよくする女性の会全国大会についてですが、いよいよ半年にせまってきましたので、徳島市にもご協力をいただければと思います。高齢者がいきいきと輝くために、男性・女性関係なく、中学生から大学生、いろんな世代の人に参加し、考えてもらいたいです。徳島から全国へ発信していきたいと思っています。

Y：多くの方に参加していただき、この大会を盛り上げたいのですが、婦人会だけでは難しいので、県からだけでなく市町村レベルからも呼びかけをしていただきたいです。

E：パンフレットの配布など、市ができるPRはしていきたいと思っています。

F：ぜひお力をおかりしたいと思います。今日はお時間をとっていただきまして、ありがとうございました。

Y：徳島市で行われるので、私たち徳島市婦人会もより一層頑張らなければいけないと感じています。ぜひご協力の程よろしくお願い致します。

E：ありがとうございました。

全地婦連四国ブロック大会に参加して

板野郡北島町婦人会 会長 菊川 政子

全地婦連四国ブロック大会が平成 29 年 2 月 14 日～15 日、香川県高松市で開催され、4 県から約 250 名、徳島県から 59 名が参加しました。大会テーマは「地域創生、女性が輝く社会」～安全・安心な地域づくり～でした。

第 1 日目の基調講演は、落合恵子さんの「女が輝く時、男も輝く・2017 年の人権意識から」でした。2 日目のテーマは「地域から見た防災対策」で、パート 1「四国防災の取り組みについて」4 県提案者が発表。徳島県からは、紅露清恵さんが発表されました。パート 2 では、4 県会長によって提案がされました。大変有意義な 2 日間でした。



平成 28 年度 徳島県福祉基金助成事業

出会い応援婚活

パークゴルフ deLOVE 開催!

開催日：平成 28 年 12 月 4 日 (日)

会場：(PARTY) ホテル千秋閣
(パークゴルフ)
藍住河川敷運動公園



毎年婦人会館で開催していた「スポーツ婚活」ですが、今回は「パークゴルフ de LOVE」と銘打ち、屋外でのパークゴルフを中心に企画、開催をいたしました。

参加人数は、男性 16 名、女性 16 名の総勢 32 名でした。

当日は、ホテル千秋閣に集合し、藍住町のパークゴルフ場へ移動、4 名から 6 名のグループに分かれゲームを楽しみました。

パークゴルフは初めてという方ばかりでしたが、寒空の下、教え合ったり応援したりと楽しそうな声が響いていました。午後はホテルでのパーティーに移動。午前中に気心が知れたこともあり、大いに盛り上がりました。

カップル成立数は 2 組でしたが、連絡先を交換する姿が多く見受けられたり、後日グループでの食事会を開催したとの報告を受けております。成婚カップルができるよう、祈るばかりです。

News 2013 年 7 月にリニューアルいたしました。

街から 5 分で秘境

自然とやすらぎの里

「徳島県山川町」にあるふいご温泉。

渓谷の美しい谷間を生かした温泉施設です。

静けさとやすらぎの空間

ふいご温泉

徳島県吉野川市山川町久宗 31-1
TEL.0883-42-4700
FAX.0883-42-5034

我が町自慢

万年山墓所

徳島市佐古婦人会 会長 井上 美恵

佐古地区には、眉山に連なる佐古山に徳島藩主蜂須賀家の「万年山墓所」があります。ここは儒教精神に重きをおいた 10 代藩主・重喜が設けた儒式墓所ですが、藩主だけでなく夫人や側室、子どもと一緒に藩主を取り囲むように埋葬されています。1997 年徳島市の史跡に指定され、2002 年からは国の指定になりました。万年山愛護連絡会が中心となり、佐古公民館や私たちの佐古婦人会なども協力して、年に数回清掃活動をして史跡保存に努めています。

ボランティアガイド活動も行っていますので、皆さん、ぜひ佐古にお越しください。



毛島のらっきょう

鳴門東婦人会 会長 山元 岩子

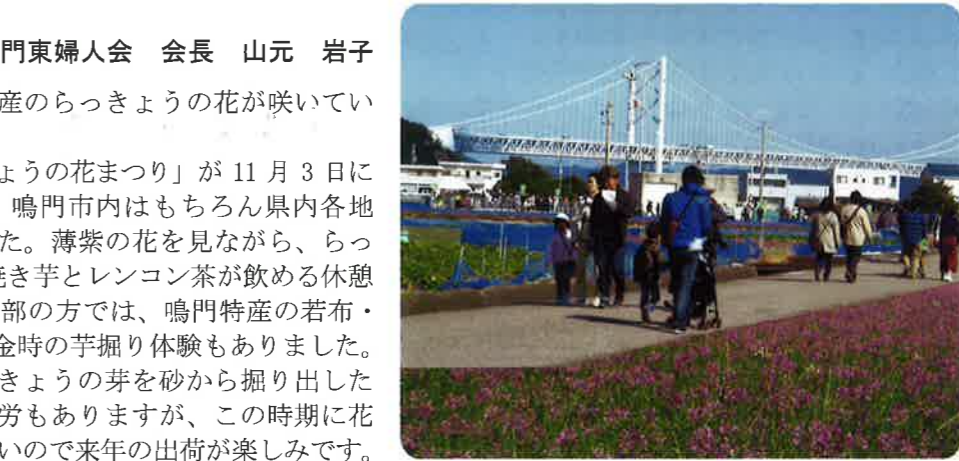
ラベンダーの花のように大毛島の畑に特産のらっきょうの花が咲いています。

今年も JA らっきょう部会主催の「らっきょうの花まつり」が 11 月 3 日に開催されました。お天気も良かったので、鳴門市内はもちろん県内各地から昨年以上の家族連れの参加がありました。薄紫の花を見ながら、らっきょう料理の試食をしたり、なんと金時の焼き芋とレンコン茶が飲める休憩所には、大勢の行列ができていました。本部の方では、鳴門特産の若布・レンコン・なんと金時の直売があり、なんと金時の芋掘り体験もありました。

台風や大雨で畑が池のようになり、らっきょうの芽を砂から掘り出したり、草抜きをしたり、生産者には大変な苦勞もありますが、この時期に花がいっぱい咲くと、らっきょうの実入りがいいので来年の出荷が楽しみです。

大毛島特産となったらっきょうは、昭和 31 年に祖父が出荷組合を作り、部会長になり、日々努力をし、各家に指導しながら広めて今になっていると聞きました。

私の家は孫になる息子が中心となって、らっきょうの生産に努力しています。ブランドとなった大毛島特産のらっきょうを、大勢の皆さんに安心して食べてもらいたいです。



社会医療法人 川島会

川島病院

理事長 / 川島 周 院長 / 水口 潤

〒770-0011 徳島県徳島市北佐古一番町 1-39
電話：088-631-0110 FAX：088-631-5500

〈診療科目〉

- 内科 ● 腎臓内科 (人工透析・腎移植) ● 泌尿器科
- 循環器内科 ● 循環器外科 ● 糖尿病内科
- 消化器内科 ● 呼吸器内科 ● 放射線科 ● 皮膚科
- 血管外科 ● 脳神経外科 ● リハビリテーション科
- 歯科 ● 歯科口腔外科

内科・人工透析内科

川島透析クリニック

院長 / 岡田 一義
〒770-0011 徳島県徳島市北佐古一番町 6 番 1 号
電話：088-634-0200
FAX：088-612-8321

内科・人工透析内科・糖尿病内科

脇町川島クリニック

院長 / 深田 義夫
〒779-3602 徳島県美馬市脇町大字猪尻字建神社下南 39-2
電話：0883-55-0110
FAX：0883-55-0130

内科・人工透析内科

鴨島川島クリニック

院長 / 川原 和彦
〒776-0033 徳島県吉野川市鴨島町飯尾字福井 396-3
電話：0883-24-8551
FAX：0883-22-1355

内科・人工透析内科

阿南川島クリニック

院長 / 宮本 弘
〒779-1106 徳島県阿南市羽ノ浦町岩脇神代地 80-1
電話：0884-44-6556
FAX：0884-44-6550

内科・人工透析内科

鳴門川島クリニック

院長 / 林 郁郎
〒772-0043 徳島県鳴門市大津町段間字西 68-5
電話：088-683-0810
FAX：088-683-0818



優しい Kind
誠実な Honest
伸びゆく Growing

伝統をつなぐ

上板町婦人会 会長 平野 シマコ

上板町は、北は阿讃山脈、南は吉野川に囲まれた自然環境豊かな町です。本町には、数多くの文化遺産があります。「大山寺」は、400年前から伝統行事の力餅大会、四国八十八箇所六番札所「安楽寺」には、数多くのお遍路さんが訪れ、毎年お接待をしています。

阿波和三盆糖の生産を守っている職人さんや阿波藍の栽培、^{つくも}薬づくりなども県内一番です。有名な藍師さんが2人います。藍染などこれらの伝統を上板のキャッチフレーズ「まちに藍・ひとに愛・助け合いのまち」このような様々な「あい」を大切に、あらゆる分野においてこれまで培ってきた伝統を次の世代に継承し守り続ける町にしていきたいと思っています。



学業成就の寺 “童学寺(どうがくじ)”

石井町にある真言宗善通寺派別格本山の寺院。本尊は薬師如来。空海(弘法大師)学問所の由緒から学業成就の寺として広く知られている。寺伝によれば、奈良時代末から平安時代にかけ空海が7歳から15歳まで当寺で書道や密教を学び、「いろは四十八文字」を創作したと伝わっている。本堂下には「いろは大師」の石像もあり、本堂では毎年児童の書道大会が開催されている。参道から境内への途中に白い山門がある。この山門が童学寺の象徴であり、裏庭の「逍遥園」とともに素晴らしい景色となっている。昨年からは境内で「いろは手づくり市」が開催され、多彩な催しものもあり町内外から多くの人々が訪れている。



石井町女性の会
石井ボランティアあすなる会 会長 笹田 典子

※3月の火災で本堂が全焼しましたが、幸いにも本尊の薬師如来は無事でした。1日も早い再建をお祈りいたします。

～わが町自慢! 郷土レシピ～【古漬けたくあんの炒め煮】 名東郡佐那河内村婦人会

【材料】(4人分)

古漬けたくあん 500g
砂糖 大さじ2
酒 大さじ2
みりん 大さじ2
ゴマ油 大さじ2
サラダ油 大さじ2
いりごま 適宜
一味 好みで

【作り方】

- ①古漬けたくあんに水を漬けて1日～2日。水はこまめに取り替えます。薄切りにする時に、ふやけていた方が切りやすい。
- ②薄切りにしたら、水を取り替えながら、さらに半日くらい水に漬けます。
- ③茹でます。好みの歯ごたえまで。茹でたらしっかり水分を取ります。
- ④ゴマ油とサラダ油で炒めたら、調味料を入れて、煮汁がなくなるまで煮ます。いりごまを入れます。



絶対に見捨てない。

平成医療福祉グループ
HEISEI MEDICAL WELFARE GROUP



佐那河内村

名東郡佐那河内村婦人会 会長 棟 としみ

名東郡佐那河内村一郡一村の小さな村です。地域活性化を目指し年1回開催されている佐那河内ふれあいまつりは、地産地消を目指しての特産品、様々な保育所・小中学校・住民の作品、その他各種団体のにぎやかな催しもの等々、村婦人も献血・子育て支援事業の一環としてのくじ引き、あめ湯のおもてなしなどで参加させていただいております。これからもこの活動が末長く引き継がれていくように願っています。



“昔あそび”をとっておばさんパワー全開

徳島市沖洲婦人会 会長 板東 恵子

かごめかごめかごの中の鳥は・・・おしくらまんじゅうおされてなくな・・・花いちもんめ等、美しい日本語、リズムカルな拍子、そして不思議なことば・・・昔あそびへのきっかけは地元小学校先生の声かけにより6年が過ぎ幼稚園、保育所へと現在に至っております。会員による作品(羽子板・竹とんぼ・コマ・紙飛行機等)など手作りをしている時間は充実しています。核家族である現代、スキンシップの少ない子ども達でも素直に表現でき、自然と相手の心に寄り添うことができます。私達もなつかしい思い出にタイムスリップし、子ども達の笑顔に優しさと温かさを感じました。



医療法人 平成博愛会
博愛記念病院

088-669-2166
徳島県徳島市勝占町惣9 www.hakuai hp.jp

徳島県内病院・施設

江藤病院 / 平成アメニティ / 明和苑 / ケアホーム鷺敷
ヴィラ勝占 / ヴィラ羽ノ浦 / ケアハウスエルベ
グループホーム勝占 / グループホーム渭北 / グループホーム八万 / グループホーム鳴門
平成デイサービスセンター羽ノ浦 / 鷺敷デイサービスセンター
八万小規模多機能センター / メディケアハウス平成

心の繋がりを大切に

応神婦人会は、地域に根ざした活動を基本としています。年間を通じて行事が非常に多く、中でも敬老会には、コミセンの大掃除をして皆様をお迎えし、式典後の演芸も大好評です。また、文化祭では、バザーや炊き出し訓練で人集めに協力し、なくてはならない存在になっております。忙しい反面、繋がりもでき楽しく活動しており、行事をするなかで色々な人との出会いも楽しみの一つではないかと思えます。一人ひとり小さくても、心をつなぐれば、みんなが住みよい、そして子供たちも健やかに育つ応神町になるのではないかと、楽しみに今日も頑張っています。



徳島市応神婦人会 会長 竹中 英子

自分の身は、自分で守ろう

私達、藍畑ボランティア&婦人防火クラブは、吉野川に沿って、東西3キロ余りに生活する地区の女性で構成されています。高齢でひとり暮らしの方の見守りや給食サービス、また文化財の防火訓練など、教育委員会・社会福祉協議会・名西町組合等に属し、行事に参加・協力しています。

近年は、東北大地震や熊本・鳥取大地震また原発事故、自然災害などにより、先人からの田畑や大切な家族を失ったニュースが放映され、予測の出来ない事態に驚いています。

昨年、県や町の防災士の方々等の協力を得て、藍畑小学校4.5.6年生70人と“防災啓発講習会”を開催しました。①吉野川のことをよく知ろう②堤防の断面構造を知ろう③古老の話を知ろう④災害の悲惨さ⑤防災・減災対策を話し合う等地域の勉強をしました。児童が自分で考えて「イエス」「ノー」で答えるゲームを通し、「自分の身は自分で守り、また周りの人の手助けが出来るように」勉強をしました。この講習会が、家族と『防災』について話し合う糸口になってくれればと、思います。

私達会員も、日々準備の心構えに生活のサイクルを合わせ、親睦をはかり、協力して、地域の方々の力になりたいと思っています。



石井町女性の会

藍畑ボランティア&婦人防火クラブ会長 伊藤 秀子

明日この街に
笑顔と安心が広がりますように



明日を想う
健祥会グループ



〒779-3105 徳島市国府町東高輪字天満356-1
☎088-642-8118(代表) FAX:088-642-8668

健祥会グループ 徳島
http://www.kenkyukai.or.jp/



平成29年新春の集い

徳島市加茂名婦人会 会長 西森 順子

平成29年県婦連の「新春の集い」が1月20日、ホテルクレメント徳島で、盛大かつ和やかに開催されました。徳島県知事飯泉嘉門様をはじめ、県内各市・各分野のリーダーの方達よりご祝辞を頂き、今年も藤田育美会長の下、元気にスタートする事ができました。飯泉知事の少し難しい酉年の話を伺い、今年には更に気持ちを締め、地域に役立つ婦人会を！と決意しました。オープニングでは、佐藤章子様による“独唱”で「富士山」「野ばら」を美しい歌声で会場を包んでくださいました。余興に入り、民謡ソーラン節から元気よく始まり、地域の特色を生かした「コウノトリ音頭」や新たな演目では「マジック」や「昔話」朗読等、お互いに学ぶことができました。最後に「阿波踊り」を踊りながら今年も健康で充実した一年にと心に誓いました。



編集後記

長い婦人会活動の中で初めて理事・広報部活動に携わらせていただき、各地域での多彩な事業に取り組まれている会員それぞれの団結心・行動力に感動しました。その中で共に学び、行動させていただきありがとうございました。地域会員の皆さんにも大変助けていただきありがとうございます。これからも共に末長く婦人会活動を頑張っていきたいと思えます。原稿をお寄せいただいた皆様、ご多用の中ご協力ありがとうございました。

名東郡佐那河内村婦人会 会長 棟 としみ

医療法人 三輝会

稲山病院

理事長 稲山 治
院長 稲山 治

徳島市南田宮4丁目3番9号(城北高校前)

☎(088)631-1515

医療法人 三輝会

徳島検診クリニック

院長 大野 久美

人間ドック専門施設

徳島市南田宮4丁目8-56

☎(088)632-9111